えほん・絵本・EHON・Picture Book No.2

『しょうぼうじどうしゃ じぷた』

渡辺 茂男 作
山本 忠敬 絵
福音館書店 1963 年

正しい評価を受ける安心。

今回は『しょうぼうじどうしゃ じぷた』を紹介します。

ある町の消防署に配備されているジープを改造した小型の消防車が、山間部の初期火災に出動し、消火した、という当然ともいえるお話が、長く子どもたちに愛されてきました。

「よし、じぷただ。たのむぞ!」

消防署長さんの呼びかけと期待に応える“じぷた”の働きは、想定どおりです。大げさにほめられなくても、“じぷた”はうれしい。読んでいる子どももうれしい。感動ではない大きな安心があるから、子どもは何度もこの本を手にとることが出来ます。

いつも公正な目が私達を見ていて、名を呼び、正しく用いて下さると、この本は教えます。
その目は小さなところまでおろそかにせず、正しく評価して下さる、と丁寧な挿絵が教えます。

だから、大きな安心を与えてくれるこの本は信頼され読み継がれてきたのでしょう。

2019 年 10 月 4 日 梅崎啓子